



福岡県八女郡広川町

臨床検査 日和



病気のおはなし ***** Vol.2

糖尿病って何？

糖尿病とは、インスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖(血糖)が増えてしまい、血糖値を正常に保てず高血糖の状態になる病気です。インスリンは膵臓から出るホルモンであり、血糖を一定の範囲におさめる働きを担っています。高血糖が長期間続くと脳梗塞・心筋梗塞・腎臓の機能低下などさまざまな合併症が引き起こされます。糖尿病と糖代謝異常の分類としては、1型、2型、その他の特定の機序・疾患によるもの、妊娠糖尿病などがあり、一人の患者が複数あわせもつこともあります。

	1型糖尿病	2型糖尿病
発症機構	主に自己免疫を基礎にした膵β細胞の破壊。遺伝因子に何かしらの誘因・環境因子が加わっておこる。他の自己免疫疾患の合併が少なくない。	インスリン分泌の低下やインスリン抵抗性を来す複数の遺伝に、過食・運動不足などの環境因子が加わってインスリン作用不足を生じて発症する。
家族歴	家系内の糖尿病は2型より少ない。	家系内血縁者にしばしば糖尿病がある。
発症年齢	小児～思春期に多い。中高年でも見られる。	40歳以上に多い。
肥満度	肥満とは関係ない。	肥満または肥満の既往が多い。



糖尿病の合併症

★糖尿病網膜症

高血糖が続くと、網膜の細い血管が傷つき、血管障害が起こります。ひどくなると網膜出血や網膜剥離などが起こって視力が低下したり失明したりすることがあります。

★糖尿病腎症

高血糖が続くと、糸球体の働きが低下し、ろ過が行われなくなり身体に老廃物がたまり、腎不全や尿毒症になります。

★糖尿病神経障害

高血糖が続くと、末梢神経の代謝に異常をきたして不必要な物質が溜まってしまったり、神経に栄養を与える血管が傷ついて血流が低下したりすることで、結果として神経の働きも障害されてしまいます。

透析導入の原因
第1位!!

糖尿病の合併症の中で
1番多い!!

糖尿病療養指導士 (CDE)



糖尿病療養指導士認定バッジ

糖尿病療養指導士 (CDE) とは・・・

糖尿病治療にもっとも大切な自己管理 (療養) を患者さんに指導する医療スタッフです。

糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を有し、医師の指示の下で患者さんに療養指導を行うことができる医療従事者に対して、日本糖尿病療養指導士認定機構が与える資格です。

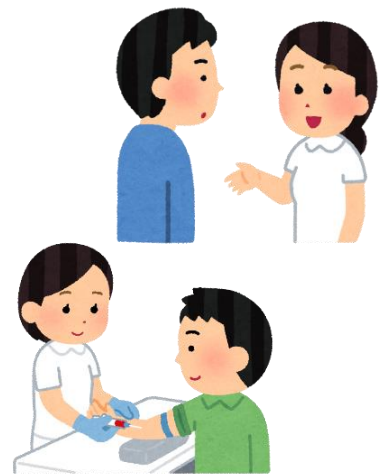
この資格は、一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられます。

CDE に認定されることは、糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートであることを意味します。

福岡市では糖尿病療養指導士の発足に向けて、平成 10 年に糖尿病療養指導士認定会が設立され **福岡糖尿病療養指導士認定制度**ができました。

臨床検査技師の役割とは。。

白十字病院の臨床検査技術部の中にも **2名**の福岡糖尿病療養指導士がいます。臨床検査技師の役割は主に、糖尿病の診断の基準になる血糖やヘモグロビン A1c など測定する血液検査を行っています。また、白十字病院では糖尿病教室を開催しており、その中で検査の目的や重要性を説明し、検査結果の見方も患者さんと一緒に考えたりしています。



検査技師のおしゃべり♪

夏の思い出

みなさんはこの夏どう過ごしましたか？ 今年も暑かったですね。

夏と聞いて連想するものは、海、プール、花火大会、フェスなどなど・・・沢山あります。

もうすぐ夏も終わりますが、今年は夏を満喫できたなぁと思います。

今までは四季の中で夏が一番苦手で、夏のイベントは好きで楽しみたいのに、何をするにも暑いし、外に出れば日焼けするしなど夏が来るのに抵抗感がありました。

ですが、今年はそんな夏も楽しみたい！という気持ちが高まり、

夏の始まりから海に行って BBQ をしたり、花火大会に行ったり、炎天下の中フェスに行ったりなど夏を沢山感じることができました。そろそろ夏も終盤ですが、夏が好きになった気がします。

熱中症など体調を崩しやすい季節ですが、体調に気を付けて
来年の夏は今年よりもっと楽しみたいと思います。



中央検査室 大川

